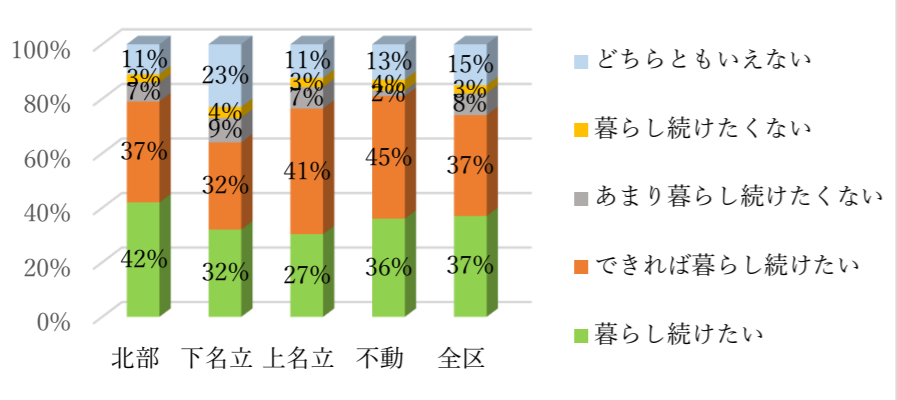


【参考:「まちづくり計画アンケート」に見る『私たちの願いや思い』】

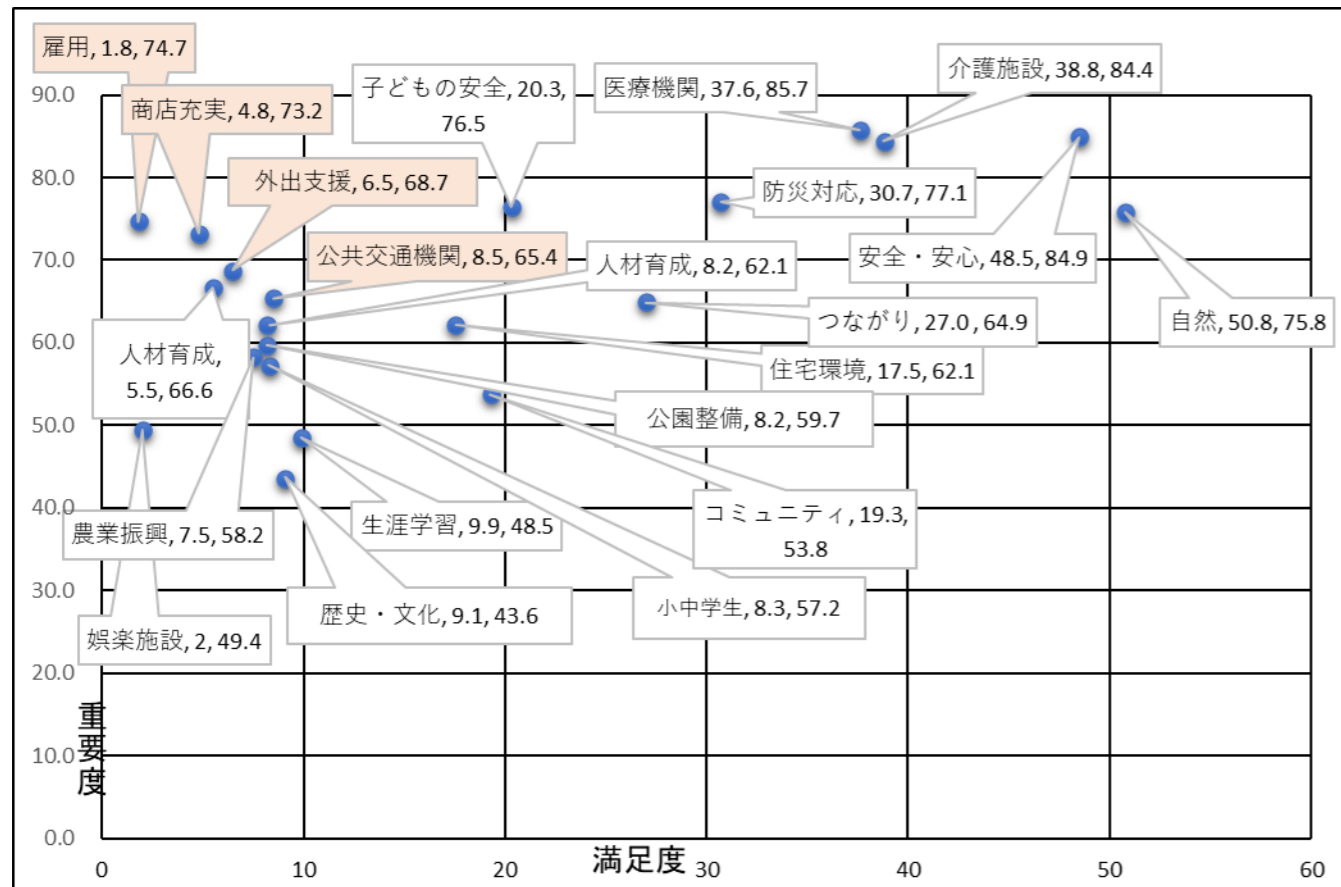
《今後も名立に暮らし続けたいと思いますか?》



『「できれば」も含め「暮らし続けたい」が全体で74%と高く、「あまり+暮らし続けたくない」の11%、「どちらともいえない」の15%と大きな差が出ています。

地区別でも4地区とも「できれば+暮らし続けたい」が64%以上の高い回答となっています。』

《満足度と重要度》について



『こうした相関図では一般的に「満足度が低く、重要度が高い」項目について今後重点的に取り組むべき事業という位置づけになり、今回は左上エリアに分布されている「働く場所の創出・確保」「食料や日用品等を購入できる商店や飲食店の充実」「買い物や通院などの外出支援の充実」「鉄道、バスなどの公共交通機関の充実」などが高い傾向を示しています。』

□名立まちづくり計画

【策定】名立まちづくり計画策定委員会 委員長 松本 新一

【編集・発行】名立まちづくり協議会 会長 三浦 元二

〒949-1602 上越市名立区名立大町 200-1(名立地区公民館内)

担当:金子 僚子、石井 三千代

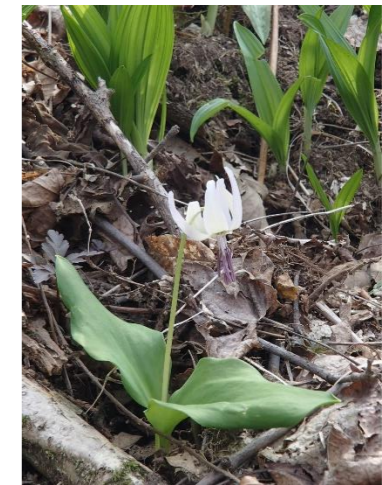
☎:025-537-2182 FAX:025-546-7041 ✉:matikyo-nadati@bz04.plala.or.jp

# 名立まちづくり計画



私たちは  
まち  
こんな名立に  
暮らしたい!

いのち  
～一人ひとりの生命と暮らしを守り、  
みんなでつくる誰もが安心して  
暮らせるまちづくり～



令和3年(2021年)3月

名立まちづくり計画策定委員会

## 名立まちづくり計画の策定について

### □はじめに～策定趣旨～

私たちが暮らすまち・名立は長い歴史に培われた優れた文化・伝統を有するとともに、私たちの周りには豊かな自然が広がっています。

今、こうして私たちがこの名立で健やかに暮らしていくことができるのは多くの先人たちのたゆまぬ努力の積み重ねのおかげであるように、これからは私たちが次代につなげることができるまちづくりを進めていかなければならない責務を有しているのです。

加えて、平成17年1月1日の市町村合併から17年目を迎え、今後ますます地域主体の自主的なまちづくりが求められているとともに、新型コロナウイルス感染症の拡大による“新たな生活様式”、新しい暮らし方も考えていかなければならないときを迎えています。

こうした今だからこそ、私たちがこれからも暮らし続けていく名立が「誰もが暮らしやすいまち」であるためにどのようなまちづくりを進めていけばいいのかをみんなで描いていくことが大切であると考え、名立まちづくり計画を策定することにしました。

### □策定経過

名立まちづくり計画の策定にあたっては下記のとおり、地域のみなさんの多くの声をお聴きすることに努めました。

#### 1 名立まちづくり計画策定委員会の設置（8月4日）

名立区内の約20の団体・組織等の代表者で構成する名立まちづくり計画策定委員会（以下、「策定委員会」）を設置し、3回の策定委員会において、「名立区住民による名立区住民のためのまちづくり計画」を検討しました。（「構成団体」別紙参照）



#### 2 名立まちづくり計画アンケートの実施（9月実施～12月報告）

名立まちづくり計画を「名立区住民による名立区住民のためのまちづくり計画」とするため、より多くの地域のみなさんからこれからの名立のまちづくりに対する思いや願い等をお聴きしたいと考え、名立区全世帯を対象に「まちづくり計画アンケート」を9月に実施しました。

アンケート結果については12月に報告させていただきましたが、約70%の高い回答に込められた地域のみなさんのまちづくりに対する熱い願いや思いを計画書に反映しました。



#### 3 福祉フェスタ・若者会議の開催（11月1日）

策定委員会委員やアンケート回答者年代が60歳以上の高齢者層となったことから、これからのまちづくりの主体、担い手となるべき若い世代の様々な声を反映することが重要と考え、中・高校生や20～30歳代を中心にした「若者会議」を開催し、若い世代のまちづくりに対する思いや意見等をお聴きました。

（「参加者」別紙参照）

#### 4 名立区地域福祉活動計画・アクションプランとの整合

名立まちづくり計画の4つ分野の一つである「福祉」については令和元・2年度で策定された名立区地域福祉活動計画及びアクションプランとの整合を図りました。

### □構成

名立まちづくり計画は行政が策定する総合的なまちづくり計画とは違い、「名立区住民による名立区住民のためのまちづくり計画」であることから、地域の様々な団体や一人ひとりが主体的に取り組んでいくことができる「暮らし」、「福祉」、「子どもたち」、「地域づくり」の4つの分野ごととそれらを包含したこれからの地域全体のまちづくりの将来像を描いてあります。

## 私たちがこれからもずっと暮らし続けたい

### 名立はこんなまちです！

《住民による住民のための“暮らし”のまちづくり》  
いつまでも名立で暮らしたい、いつでも名立に戻ってきたいと思えるような安心して暮らせるまちづくり

- ☆仕事、商店、福祉・医療、公共交通、教育、子育てが充実し、名立で暮らしていける安心感がほしい
- ☆地域のつながりの強さが名立のよさ

《住民による住民のための“福祉”のまちづくり》  
一人ひとりが支え合い、誰もが安心して暮らせる福祉のまち・名立

- ☆2020年3月策定の名立区地域福祉活動計画「みんなの想い」と同じ
- ☆2021年3月、名立区地域福祉活動計画アクションプラン策定

### 《住民による住民のためのまちづくり》の将来像

一人ひとりの<sup>いのち</sup>生命と暮らしを守り、

みんなでつくる誰もが安心して暮らせるまち・名立

- ☆いつでも、誰にも大切なことは一人ひとりの生命と暮らしを守ること
- ☆まちづくりはみんなで一つの想いを描き、つくるもの

《住民による住民のための“子どもたち”のまちづくり》  
名立を愛し、名立を語り、名立を想い続ける子どもたちが創り拓く、心豊かなまちづくり

- ☆名立の子どもを守り育む会の想いである「ふるさとを愛し、…」を「名立を…」に読み替える
- ☆子どもたちが主体となってこれからのまちを創り、切り拓いていくことが大切

《住民による住民のための“地域づくり”》  
豊かな自然や優れた歴史・文化を守りつなぐとともに、明日の名立を担う若者たちが生き生きと暮らせるまちづくり

- ☆いつまでも守りつなぐ名立のよさ
- ☆新しいまちづくりへの希望と期待感